

標準委員会 第11回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2010年12月3日（金） 11：00～12：30

2. 場 所 （独）原子力安全基盤機構 別館11A, B会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 山口（副部会長），成宮（幹事），桐本，野中，本間，北村，町田，松岡，松本，橋本，竹山，関根，福山，梶本，山下，佐々木（16名）

（代理出席委員） 豊嶋 謙介（倉本代理），黒岩 克也（大嶽代理），織田 伸吾（守屋代理），今井 英隆（宮田（浩）代理），西村 洋一（座間代理）（5名）

（欠席委員） 平野（光），岡本，越塚，吉田（一），村松，宮田（知），小野（7名）

（常時参加者） 安田（1名）

（事務局） 岡村

4. 配付資料

RKTC11-1 第10回リスク専門部会 議事録（案）

RKTC11-2 人事について

RKTC11-3 内部溢水PSA分科会の活動状況他

RKTC11-4 標準活動検討タスクの活動状況について

RKTC11-5 2011春の年会の企画セッション提案書

RKTC11-6 原子力学会リスク専門部会における標準策定スケジュール（案）（至近3年）

参考資料

RKTC11-参考1 リスク専門部会委員名簿

RKTC11-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局より、開始時点で委員28名中代理委員を含めて19名が出席しており、決議に必要な定足数（19名以上）を満足している旨報告された。また、平野部会長が退任することから、新部会長選任まで、山口副部会長が代理で議事進行を行うことが報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（RKTC11-1）

議事録（案）は、事前に配付してコメントが反映されており、承認された。

(2) 人事について（RKTC10-8）

事務局より、以下の専門部会人事案件が紹介された。

①委員の退任【報告事項】

平野 光将（東京都市大学） 2010年12月3日退任

村松 健（（独）日本原子力研究開発機構） 2010年12月3日退任

宮田 知也（日本原子力保険プール） 2010年12月3日退任

②新委員の選任（分科会代表者からの変更）【承認事項】

本間 俊充（（独）日本原子力研究開発機構，L3PSA分科会主査）

③委員の再任

山口 彰（大阪大学）

成宮 祥介（関西電力（株））

岡本 孝司（東京大学）

越塚 誠一（東京大学）

桐本 順広（（財）電力中央研究所）

野中 信之（（独）日本原子力研究開発機構）

吉田 一雄（（独）日本原子力研究開発機構）

倉本 孝弘（（株）原子力エンジニアリング）

町田 秀夫（（株）テプコシステムズ）

松岡 由了（三菱原子燃料（株））

松本 精二（日本エヌ・ユー・エス（株））

橋本 和典（（株）東芝）

守屋 公三明（（株）日立製作所）

竹山 弘恭（中部電力（株））

関根 啓二（日本原燃（株））

宮田 浩一（東京電力（株））

梶本 光廣（（独）原子力安全基盤機構）

佐々木 憲明（（独）原子力安全基盤機構）

山下 正弘（（独）原子力安全基盤機構）

審議の結果、新委員の選任及び委員の再任が承認された。

引き続き、新部会長の選任投票が行われ、山口副部会長18票、白票1で山口副部会長が新部会長に選任された。さらに、山口部会長より山下委員が副部会長に指名され、両者の協議により成宮幹事が再度幹事に指名された。

また、成宮幹事より、安田宗浩氏（関西電力）が常時参加を希望している旨紹介があり、承認された。

(3) 内部溢水PSA分科会の活動状況（RKTC11-3）

内部溢水PSA分科会西村幹事より、資料RKTC11-3に基づき、内部溢水PSA分科会における議論の状況及び論点について説明が行われ、以下のような議論があった。

主な質疑等

- ・ 全体のタイムスケジュールが欲しい。
 - 第8回の分科会まで年度内に開催し、早ければ3月に中間報告したいと考えている。
- ・ スクリーニングとあるが、グループ化とすべきではないか。切り捨ては良くない。グループ化としておかないと完全性が失われる。完全性については、最初に議論

しておく必要がある。スクリーニングについて検討して欲しい。

- ・ 起回事象の影響の範囲はどの程度か。錆のようなものも考慮しているのか。
 - レベル1 PSAと同様である。錆のような長時間のものは考えていない。
 - 時効効果のようなものも議論して欲しい。
- ・ 運転開始後のプラントで評価する場合は良いが、設計段階で評価する場合はウォークダウンはどうするのか。
 - 設計段階での評価は意識していなかった。他の標準も同じだと思う。
 - 運転時、停止時としており、設計段階は対象外ではないか。
 - ウォークダウンはPSAの信頼性向上のためと考えれば良い。
- ・ 論点として、レベル2 PSAにつなぐ観点で、シナリオのグループ化は考えておいて良いのではないか。

(4) 標準活動検討タスクの活動状況 (RKTC11-4)

事務局より、資料RKTC11-4に基づき、標準活動検討タスクの活動状況の紹介があり、成宮幹事より学会標準の体系化に関する補足説明が行われた。

主な質疑等

- ・ 原子力安全委員会から当面の施策の基本方針が公開されたが、その中でもリスク情報の活用について言及されている。リスク評価標準体系化戦略タスクの中で確認して、反映すべき物が無いか検討して欲しい。
- ・ リスク情報活用の判定基準について、民間の決める部分としているが、これは本来規制側で決めるべき部分ではないか。
 - 規制基準がどこまで決めるべきかという議論になるが、安全確保されたという前提の上で、運用として民間で決める領域があっても良いのではと思って書いたもの。現時点では単なるアイディア。

(5) 2011年春の年会での企画セッション発表について (RKTC11-5)

成宮幹事より、資料RKTC11-5に基づき、2011年春の年会で標準活動検討タスクの企画セッションがあり、その一部としてリスク専門部会の活動に関する講演をすとの紹介が行われ、了承された。

(6) リスク専門部会における標準策定スケジュール (案) (RKTC11-6)

成宮幹事より、資料RKTC11-6に沿って、リスク専門部会の標準策定スケジュール (案) について報告が行われた。

(7) その他

成宮幹事より、来年3月のPSA 2011でリスク関連標準の紹介を予定しているとの報告があった。次回専門部会日程については別途調整することとした。

以上